

# 侵襲の少ない腹腔鏡手術を実施 乳腺専門外来も提供



3D内視鏡導入により患部の縫合などに効率化



吹き抜けて開放感のある待合ホール



## 院長 宮本 茂樹

1994年、札幌医科大学卒業。同大第一外科入局。市立室蘭総合病院外科医長、札幌鉄道病院外科医長、札幌道都病院外科部長を経て、2011年4月苫小牧消化器外科院長に就任。日本外科学会専門医。日本消化器外科学会専門医・指導医。日本消化器病学会専門医。日本内視鏡外科学会技術認定医。医学博士。

「信頼と安心の医療」を旗印に、「消化器疾患を中心に幅広く診察し、また気軽に受診できるかかりつけ医としての役割を果たすこと」を診療方針に掲げ、診断から手術まで一貫した医療サービスを提供。

当医院では、良性疾患の胆石症や食道がん・胃がん・大腸がんなどの悪性疾患を対象に、「腹腔鏡下手術」を取り入れている。術後の痛みを緩和し、患者の精神的、肉体的負担を軽減できるとして認知されつつあり、同医院の手術対象者の7割を占める。院長は内視鏡手術の指導的立場にあり、道内外でも数少ない日本内視鏡外科学会技術認定医の資格を持つ。2016年度の内視鏡検査は、胃力メラ1689件、大腸力メラ1337件の実績がある。患者の中には、女性や若年層にも多く見られる肛門疾患で、日常的な悩みを抱えて来院する

人も少なくない。肛門疾患は大腸がんと区別がつきにくいケースもあり、甘くみるのは禁物。大腸がんは増加傾向にあり、早期発見・治療が肝心。

また、乳がん検診者も16年度は1522人が訪れている。16年4月からは、新たに乳腺専門外来を開設。毎週水曜日の午後に診療を行っており、乳腺疾患に対しても十分な診療体制を整えている。

「現在、国内では毎年4万人の女性が乳がんと診断され、日本では40代から50代の方の発病が多いのが特徴です。自己検診も必要ですが、乳がんは早期に見えられ、適切な治療をすることによって良好な経過が期待できます。できるだけ検診を受けることをお勧めします」と、宮本院長は話す。

札幌医科大学付属病院第一外科、札幌手稲深仁会病院、札幌厚生病院と病診連携も積極的に行っている。

## 医療法人 苫小牧消化器外科

☎(0144)51-6655

苫小牧市北栄町3丁目5番1号

ホームページ <http://www.tgs-cl.jp>

受付時間／  
月～金／8:30～11:30 13:00～17:00  
第2・4土曜／8:30～11:30  
※水曜午後は乳腺専門外来も行っていきます。  
休診日／第1・3・5土曜・日・祝日



内科・外科・消化器内科・消化器外科・内視鏡内科・内視鏡外科・肛門外科・乳腺外科・禁煙外来